

運用報告書 (全体版)

ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 レアル型

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/株式
信託期間	2011年7月29日から2021年7月13日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	主として円建ての外国投資信託である「ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスBRL」の投資信託証券へ投資を行います。また、証券投資信託であるDIAマナーマザーファンド受益証券への投資も行います。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
運用方法	外国投資信託への投資を通じて、主としてわが国の新興市場の株式に実質的な投資を行います。 外国投資信託への投資比率は、原則として高位を保ちます。 外国投資信託の円建て資産部分については、原則として対ブラジルレアルで為替取引(円売りレアル買いの為替予約取引等)を行います。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	決算日(原則として毎月13日。休業日の場合は翌営業日。)に、経費控除後の利子配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

第91期 <決算日 2019年2月13日>
 第92期 <決算日 2019年3月13日>
 第93期 <決算日 2019年4月15日>
 第94期 <決算日 2019年5月13日>
 第95期 <決算日 2019年6月13日>
 第96期 <決算日 2019年7月16日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 レアル型」は、2019年7月16日に第96期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 レアル型

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資組 資本金 信託比	託券率	純資産 総額
		(分配落)	税分 込配 み金	期騰 落 中率			
第12作成期	67期(2017年2月13日)	円 22,884	円 60	% 4.0	% 96.3	百万円 866	
	68期(2017年3月13日)	24,146	60	5.8	96.7	1,119	
	69期(2017年4月13日)	21,910	60	△9.0	95.8	975	
	70期(2017年5月15日)	25,341	60	15.9	98.8	1,055	
	71期(2017年6月13日)	25,289	60	0.0	97.7	1,096	
	72期(2017年7月13日)	26,852	60	6.4	97.7	1,229	
第13作成期	73期(2017年8月14日)	25,687	60	△4.1	97.1	1,166	
	74期(2017年9月13日)	26,466	60	3.3	97.1	1,116	
	75期(2017年10月13日)	27,174	60	2.9	98.0	1,123	
	76期(2017年11月13日)	27,263	60	0.5	99.2	1,031	
	77期(2017年12月13日)	28,852	60	6.0	99.0	1,058	
第14作成期	78期(2018年1月15日)	32,119	60	11.5	99.0	1,168	
	79期(2018年2月13日)	28,268	60	△11.8	98.8	1,032	
	80期(2018年3月13日)	31,290	60	10.9	97.9	1,216	
	81期(2018年4月13日)	29,056	60	△6.9	97.6	1,060	
	82期(2018年5月14日)	27,777	60	△4.2	98.7	1,010	
	83期(2018年6月13日)	29,121	60	5.1	98.9	1,036	
第15作成期	84期(2018年7月13日)	27,588	60	△5.1	98.9	965	
	85期(2018年8月13日)	26,273	60	△4.5	98.9	911	
	86期(2018年9月13日)	24,253	60	△7.5	99.1	839	
	87期(2018年10月15日)	26,689	60	10.3	98.5	907	
	88期(2018年11月13日)	26,868	60	0.9	99.0	915	
	89期(2018年12月13日)	23,603	60	△11.9	98.6	802	
第16作成期	90期(2019年1月15日)	21,501	60	△8.7	98.8	720	
	91期(2019年2月13日)	22,005	60	2.6	98.9	737	
	92期(2019年3月13日)	24,173	60	10.1	99.1	807	
	93期(2019年4月15日)	24,707	60	2.5	99.1	823	
	94期(2019年5月13日)	22,965	60	△6.8	98.8	762	
	95期(2019年6月13日)	23,922	60	4.4	99.0	802	
	96期(2019年7月16日)	23,351	60	△2.1	98.9	779	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

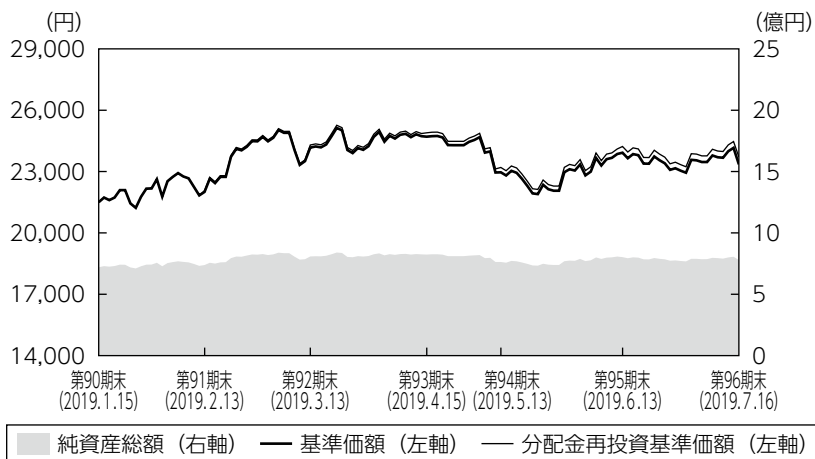
決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投資信託受益証券組入比率
			騰	落	
第 91 期	(期 首) 2019 年 1 月 15 日	円 21,501	%	-	% 98.8
	1 月 末	21,773		1.3	99.0
	(期 末) 2019 年 2 月 13 日	22,065		2.6	98.9
第 92 期	(期 首) 2019 年 2 月 13 日	22,005		-	98.9
	2 月 末	24,696		12.2	98.9
	(期 末) 2019 年 3 月 13 日	24,233		10.1	99.1
第 93 期	(期 首) 2019 年 3 月 13 日	24,173		-	99.1
	3 月 末	24,241		0.3	99.1
	(期 末) 2019 年 4 月 15 日	24,767		2.5	99.1
第 94 期	(期 首) 2019 年 4 月 15 日	24,707		-	99.1
	4 月 末	24,545		△0.7	99.3
	(期 末) 2019 年 5 月 13 日	23,025		△6.8	98.8
第 95 期	(期 首) 2019 年 5 月 13 日	22,965		-	98.8
	5 月 末	23,049		0.4	99.0
	(期 末) 2019 年 6 月 13 日	23,982		4.4	99.0
第 96 期	(期 首) 2019 年 6 月 13 日	23,922		-	99.0
	6 月 末	23,041		△3.7	99.2
	(期 末) 2019 年 7 月 16 日	23,411		△2.1	98.9

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第91期～第96期の運用経過（2019年1月16日から2019年7月16日まで）

基準価額等の推移



第91期首：21,501円
 第96期末：23,351円
 （既払分配金360円）
 騰落率：10.3%
 （分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

作成期を通じてブラジルレアルは対円で下落したものの、米中貿易摩擦の拡大懸念が後退したことや、F R B（米連邦準備理事会）議長の発言を受け米国の利下げ期待が高まったこと、ラクスル、ユーザベースなどの保有銘柄がプラスに寄与したことなどから基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスB R L	11.0%
D I A Mマネーマザーファンド	0.0%

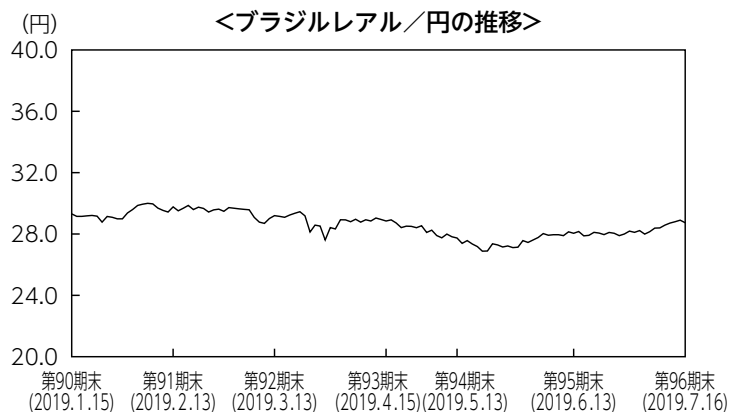
(注) ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスB R Lの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

投資環境

国内株式市場は、作成期初から2019年2月までは米国景気の減速懸念が後退したことや、米中貿易問題の改善期待などから上昇しました。5月には米国の中国製品に対する関税引き上げの発表や、世界的な景気の減速懸念などから下落に転じました。その後は、米国の年内利下げへの期待の高まりなどから国内株式市場も上昇しましたが、作成期末では米中貿易摩擦への警戒が再燃したことなどから下落基調となりました。

為替市場では、2019年5月にかけて経済活動指数が予想以上に悪化するなど、ブラジル国内の経済の低迷に加え、世界的なリスクセンチメントの悪化も影響してブラジルレアルは下落しました。その後は、米国の金融緩和観測が強まるなど外部環境が改善し、ブラジル国内においては年金改革の進展が期待されたことなどから、ブラジルレアルは作成期末にかけて上昇しましたが、前作成期末比ではブラジルレアルは対円で下落しました。

日米欧の中央銀行は米中の貿易問題などの影響を見極めるため金融政策を据え置いています。そのため、国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは△0.2%台～△0.1%台のレンジ内での推移となりました。



ポートフォリオについて

●当ファンド

ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスBRLの組入比率は原則として高位を維持し、DIAMマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスBRL

リスクオンを意識した相場展開が始動することを想定し、全般に積極的な運用を行いました。情報・通信業や電気機器など企業価値の高まりを期待させる銘柄を中心に組入れを行いました。

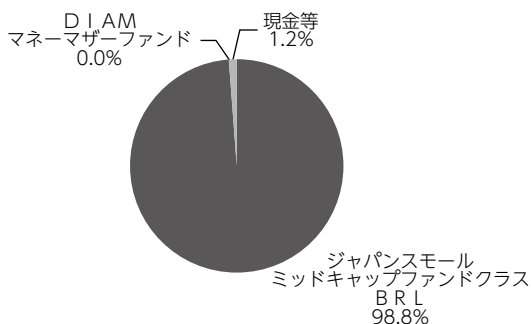
また、円売りブラジルリアル買いの為替取引等を行いました。

●DIAMマネーマザーファンド

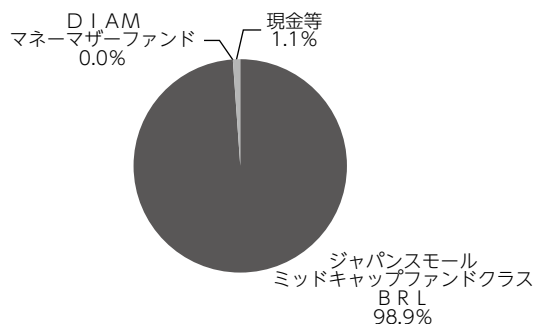
残存期間の短い国債や政府保証債、地方債などで運用を行いました。

ポートフォリオ構成 ※比率は純資産総額に対する割合です。

前作成期末



当作成期末



分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期	第96期
	2019年1月16日 ~2019年2月13日	2019年2月14日 ~2019年3月13日	2019年3月14日 ~2019年4月15日	2019年4月16日 ~2019年5月13日	2019年5月14日 ~2019年6月13日	2019年6月14日 ~2019年7月16日
当期分配金（税引前）	60円	60円	60円	60円	60円	60円
対基準価額比率	0.27%	0.25%	0.24%	0.26%	0.25%	0.26%
当期の収益	60円	60円	60円	43円	60円	40円
当期の収益以外	-円	-円	-円	16円	-円	19円
翌期繰越分配対象額	23,423円	23,429円	23,433円	23,416円	23,422円	23,402円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスB R Lを高位に組入れることを基本とした運用を行います。また、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行います。

●ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスB R L

内外政治経済の動向には、引き続き注視すべき重要な要素が散見されますが、今後の株式市場は米中の対立懸念の後退を歓迎する方向で織り込むものと見ており、比較的堅調な展開で推移するものと考えています。引き続き、困難な社会的課題に志を持って取り組む経営陣や、技術力、組織力を備えた企業を特に評価したいと考えています。産学官（産業界、学校、官公庁）や大企業の経営資源を活用するなど、オープンイノベーション（企業の内部と外部の技術やアイデアを組み合わせることで、革新的なビジネスモデルなどを生み出すこと）に取り組む会社にも期待し、銘柄選択に努めていく方針です。加えて、円売りブラジルリアル買いの為替予約取引等を行います。

●D I A Mマネーマザーファンド

日銀の物価目標である2%まではまだ距離があるため、当面は金融政策を据え置くと予想されています。今後も国債や政府保証債、地方債などを組入れた運用を行っていきます。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第91期～第96期		項目の概要
	(2019年1月16日～2019年7月16日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	144円	0.613%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は23,541円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(52)	(0.220)	
(販売会社)	(89)	(0.376)	
(受託会社)	(4)	(0.016)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	145	0.614	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

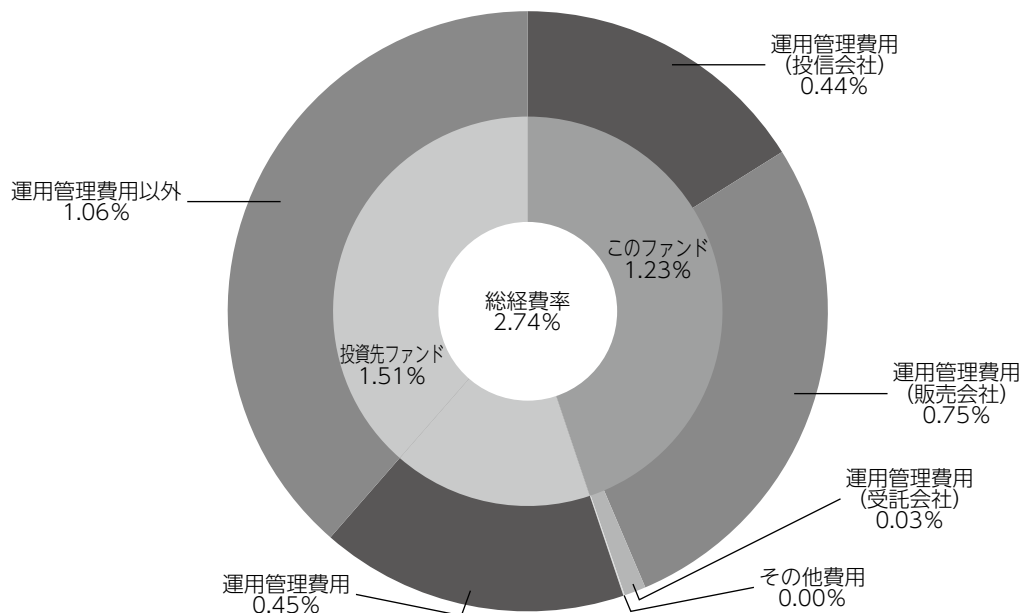
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.74%です。



総経費率 (①+②+③)	2.74%
①このファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.45%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.06%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■**売買及び取引の状況**（2019年1月16日から2019年7月16日まで）
投資信託受益証券

		第 91 期 ~ 第 96 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦貨 建	ジャパンスモールミッド キャップファンドクラスBRL	千□	千円	千□	千円
			0.85446	21,000	1.13

(注) 金額は受渡代金です。

■**親投資信託受益証券の設定、解約状況**（2019年1月16日から2019年7月16日まで）
期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■**利害関係人との取引状況等**（2019年1月16日から2019年7月16日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■**組入資産の明細**

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 15 作 成 期 末		第 16 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千□	千円	%
ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスBRL	31.93585	31.66031	770,358	98.9
合 計	31.93585	31.66031	770,358	98.9

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第 15 作 成 期 末		第 16 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額	評 価 額
	千□	千□	千円	千円
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド	103	103	105	105

■投資信託財産の構成

2019年7月16日現在

項 目	第 16 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	770,358	98.4
D I A M マ ネ ー マ ザ ー フ ァ ン ド	105	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	12,212	1.6
投 資 信 託 財 産 総 額	782,676	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年2月13日)、(2019年3月13日)、(2019年4月15日)、(2019年5月13日)、(2019年6月13日)、(2019年7月16日)現在

項 目	第 91 期 末	第 92 期 末	第 93 期 末	第 94 期 末	第 95 期 末	第 96 期 末
(A) 資 産	742,014,881円	815,159,058円	827,590,398円	767,054,689円	813,016,437円	782,676,075円
コール・ローン等	12,782,506	14,115,818	11,033,519	12,921,631	13,007,655	12,212,398
投資信託受益証券(評価額)	729,127,391	800,938,267	816,451,864	754,028,064	793,874,368	770,358,662
DIAMマネーマザーファンド(評価額)	104,984	104,973	105,015	104,994	104,984	105,015
未 収 入 金	-	-	-	-	6,029,430	-
(B) 負 債	4,437,199	7,310,191	4,010,865	4,067,260	10,719,957	3,618,074
未払収益分配金	2,011,079	2,005,161	1,999,998	1,993,393	2,012,255	2,001,807
未払解約金	1,700,348	4,549,134	1,097,672	1,309,504	7,906,090	737,175
未払信託報酬	723,979	754,026	910,930	762,470	799,630	876,918
その他未払費用	1,793	1,870	2,265	1,893	1,982	2,174
(C) 純資産総額(A-B)	737,577,682	807,848,867	823,579,533	762,987,429	802,296,480	779,058,001
元 本	335,179,932	334,193,603	333,333,016	332,232,330	335,375,951	333,634,596
次期繰越損益金	402,397,750	473,655,264	490,246,517	430,755,099	466,920,529	445,423,405
(D) 受 益 権 総 口 数	335,179,932口	334,193,603口	333,333,016口	332,232,330口	335,375,951口	333,634,596口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,005円	24,173円	24,707円	22,965円	23,922円	23,351円

(注) 第90期末における元本額は335,077,643円、当作成期間(第91期～第96期)中における追加設定元本額は28,646,633円、同解約元本額は30,089,680円です。

■損益の状況

〔自 2019年1月16日 至 2019年2月13日〕〔自 2019年2月14日 至 2019年3月13日〕〔自 2019年3月14日 至 2019年4月15日〕〔自 2019年4月16日 至 2019年5月13日〕〔自 2019年5月14日 至 2019年6月13日〕〔自 2019年6月14日 至 2019年7月16日〕

項 目	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期	第 96 期
(A) 配 当 等 収 益	2,229,901円	2,218,851円	2,223,256円	2,206,842円	2,231,761円	2,220,289円
受 取 配 当 金	2,230,568	2,219,434	2,223,894	2,207,392	2,232,359	2,221,037
受 取 利 息	-	3	1	1	-	-
支 払 利 息	△667	△586	△639	△551	△598	△748
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	17,197,960	71,822,331	18,421,100	△57,245,012	32,708,263	△18,351,341
売 買 益	17,324,126	72,983,101	18,516,135	118,258	32,950,800	137,394
売 買 損	△126,166	△1,160,770	△95,035	△57,363,270	△242,537	△18,488,735
(C) 信 託 報 酬 等	△725,772	△755,896	△913,195	△764,363	△801,612	△879,092
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	18,702,089	73,285,286	19,731,161	△55,802,533	34,138,412	△17,010,144
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△109,643,387	△90,820,552	△19,236,096	△1,490,232	△58,249,218	△25,780,314
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	495,350,127	493,195,691	491,751,450	490,041,257	493,043,590	490,215,670
(配 当 等 相 当 額)	(581,536,110)	(583,902,625)	(584,991,527)	(584,329,758)	(595,082,774)	(593,506,447)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△86,185,983)	(△90,706,934)	(△93,240,077)	(△94,288,501)	(△102,039,184)	(△103,290,777)
(G) 合 計 (D+E+F)	404,408,829	475,660,425	492,246,515	432,748,492	468,932,784	447,425,212
(H) 収 益 分 配 金	△2,011,079	△2,005,161	△1,999,998	△1,993,393	△2,012,255	△2,001,807
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	402,397,750	473,655,264	490,246,517	430,755,099	466,920,529	445,423,405
追 加 信 託 差 損 益 金	495,350,127	493,195,691	491,751,450	490,041,257	493,043,590	490,215,670
(配 当 等 相 当 額)	(581,536,110)	(583,902,625)	(584,991,527)	(584,329,758)	(595,082,774)	(593,506,447)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△86,185,983)	(△90,706,934)	(△93,240,077)	(△94,288,501)	(△102,039,184)	(△103,290,777)
分 配 準 備 積 立 金	203,577,530	199,099,607	196,123,683	193,657,185	190,438,320	187,279,068
繰 越 損 益 金	△296,529,907	△218,640,034	△197,628,616	△252,943,343	△216,561,381	△232,071,333

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期	第 96 期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,146,624円	2,196,209円	2,124,918円	1,442,481円	2,180,541円	1,341,219円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	581,536,110	583,902,625	584,991,527	584,329,758	595,082,774	593,506,447
(d) 分 配 準 備 積 立 金	203,441,985	198,908,559	195,998,763	194,208,097	190,270,034	187,939,656
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	787,124,719	785,007,393	783,115,208	779,980,336	787,533,349	782,787,322
(f) 1万口当たり当期分配対象額	23,483.65	23,489.60	23,493.48	23,476.95	23,482.11	23,462.41
(g) 分 配 金	2,011,079	2,005,161	1,999,998	1,993,393	2,012,255	2,001,807
(h) 1万口当たり分配金	60	60	60	60	60	60

■分配金のお知らせ

決算期	第 91 期	第 92 期	第 93 期	第 94 期	第 95 期	第 96 期
1万口当たり分配金	60円	60円	60円	60円	60円	60円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

ジャパンスモールミッドキャップファンドクラスB R L

当ファンドは「ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 レアル型」が投資対象とする外国投資信託です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン籍円建て外国投資信託
主 要 投 資 対 象	主としてわが国の新興市場の株式*を投資対象とします。 *取得時において新興市場に上場（上場予定を含む）している銘柄とします。
投 資 態 度	①主としてわが国の新興市場の株式への投資を通じて、中長期的な信託財産の成長を目的として、積極的な運用を行います。 ②わが国のジャスダック、東証マザーズ等の上場株式を対象に、流動性、時価総額、信用力等を勘案し、基本ユニバースを策定します。基本ユニバースの銘柄を対象に、成長力、競争力、収益力、株価水準等を分析し、ファンダメンタルズおよびバリュエーションの観点から魅力的な銘柄を選択し、ポートフォリオを構築します。 ③株式への投資比率は、原則として高位を保ちます。 ④運用の効率化を図るため、わが国の株価指数を対象とした株価指数先物取引（日本以外での取引も含みます。）を活用する場合があります。 ⑤円建て資産については、原則として、円売り／ブラジルレアル買いの為替取引を行います。この場合、為替予約取引等を活用します。 ⑥銘柄選択にあたっては、アセットマネジメントOneの運用助言を受けます。
主 な 投 資 制 限	①有価証券の空売りは行いません。 ②デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。 ③純資産総額の10%を超える借入れは行いません。 ④投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、純資産総額の5%以内とします。
投 資 顧 問 会 社	アセットマネジメントOne インターナショナル・リミテッド
副 投 資 顧 問 会 社	アセットマネジメントOne株式会社
受 託 銀 行	CIBC BANK AND TRUST COMPANY (CAYMAN) LIMITED
管 理 事 務 代 行 会 社、 保 管 銀 行	Brown Brothers Harriman & Co.

ジャパンスモールミッドキャップファンドはケイマン籍外国投資信託で、2018年12月28日に会計期間が終了し、現地の公認会計士による財務諸表監査を受けて完了しています。以下は、2018年12月28日現在の財務諸表の原文の一部を翻訳・抜粋したものです。

損益計算書
自2018年1月1日 至2018年12月28日
(円建投資信託)

投資収益	
配当収益 (¥769,375の源泉税控除後)	¥ 4,254,306
投資収益合計	4,254,306
費用	
会計処理・管理事務手数料	5,539,328
投資運用報酬	3,500,430
信託報酬	1,923,664
証券代行手数料	1,435,795
専門家報酬	1,431,688
保管手数料	586,262
為替代行手数料	201,328
支払利息	226,652
費用合計	14,845,147
投資純損失	(10,590,841)
実現純利益／損失および未実現評価益／損の純変動分	
実現純利益／損失：	
投資有価証券の売却	201,868,474
先物取引	(7,637,025)
外国為替取引および為替先渡契約	(130,643,801)
実現純利益	63,587,648
未実現評価益／損の純変動：	
投資有価証券	(351,683,346)
先物取引	(2,590,000)
外貨換算および為替先渡契約	12,209,316
未実現評価損の純変動分	(342,064,030)
実現純利益および未実現評価損の純変動分	(278,476,382)
運用による純資産の純減額	¥ (289,067,223)

要約組入資産明細 (2018年12月28日現在)

銘柄	数量	取得原価	公正価値	対純資産 比率
普通株式				
日本				
銀行		¥ 472,553	¥ 350,000	0.1%
バイオテクノロジー		336,276	333,600	0.0%
化学		1,977,666	2,736,000	0.4%
商業サービス				
Raksul, Inc.	15,000	32,622,870	35,880,000	5.3%
その他		40,332,966	37,969,600	5.6%*
コンピューター		5,005,271	4,900,000	0.7%
化粧品/パーソナルケア		14,846,901	12,672,000	1.9%
各種金融サービス		55,227,362	40,054,300	5.9%*
電力		12,156,489	9,362,900	1.4%
電子機器		4,155,579	3,836,100	0.6%
エネルギー - 代替資源		21,415,787	20,987,400	3.1%
土木・建設		15,162,927	15,961,800	2.4%
娯楽		19,920,623	17,208,000	2.5%
食品		73,829	58,100	0.0%
ヘルスケア製品		400,837	194,800	0.0%
ヘルスケアサービス				
PeptiDream, Inc.	9,800	12,579,305	42,532,000	6.3%
その他		24,354,930	13,436,800	2.0%
保険		23,555,064	19,800,000	2.9%
インターネット				
Ceres, Inc.	30,900	48,690,627	52,282,800	7.7%
CrowdWorks, Inc.	20,900	33,198,650	36,763,100	5.4%
Uzabase, Inc.	24,000	23,515,249	39,840,000	5.9%
その他		95,712,481	93,779,400	13.8%*
機械 - その他		9,752,465	7,902,000	1.2%
メディア		413,265	914,500	0.1%
医薬品		30,037,665	26,588,000	3.9%
不動産		197,936	145,900	0.0%
小売り		48,336,808	19,081,300	2.8%
半導体		1,603,593	1,112,300	0.2%
ソフトウェア		44,658,106	22,367,900	3.3%
通信		498,368	422,300	0.1%
日本合計		621,212,448	579,472,900	85.5%
普通株式合計		621,212,448	579,472,900	85.5%

銘柄		元本	取得原価	公正価値	対純資産 比率
短期金融資産					
定期預金	JPY	99,477,250	99,477,250	99,477,250	14.7%
日本合計			<u>99,477,250</u>	<u>99,477,250</u>	<u>14.7%</u>
短期金融資産合計			<u>99,477,250</u>	<u>99,477,250</u>	<u>14.7%</u>
投資有価証券合計		¥	720,689,698	¥ 678,950,150	100.2%
負債の現金およびその他資産超過額				<u>(1,581,724)</u>	<u>(0.2)%</u>
純資産				<u>¥ 677,368,426</u>	<u>100.0%</u>

* 個々の公正価値が純資産の5%未満の有価証券で構成されている。

クラスB R Lの2018年12月28日現在の為替先渡契約残高 (対純資産比率-0.6%)

買建	契約先	契約金額	決済日	売建	契約金額	純額の 未実現評価損
BRL	Citibank N.A.	24,974,739	01/30/2019	JPY	715,101,411	¥ (4,383,199)

2018年12月28日現在の先物取引契約残高 (対純資産比率-0.3%)

ポジション	内容	満期日	契約数	未実現評価損
ロング	T O P I X先物2019年3月限	03/2019	2	¥ (1,780,000)

DIAMマネーマザーファンド

運用報告書

第10期（決算日 2019年4月5日）

（計算期間 2018年4月6日～2019年4月5日）

DIAMマネーマザーファンドの第10期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券 組入比率	新株予約権 付社債 (転換社債)	債券 先物比率	純資産 総額
	円	騰落 中率				
6期(2015年4月6日)	10,090	0.1	82.8	—	—	百万円 9,524
7期(2016年4月5日)	10,098	0.1	80.6	—	—	3,158
8期(2017年4月5日)	10,104	0.1	71.2	—	—	1,045
9期(2018年4月5日)	10,099	△0.0	71.1	—	—	1,030
10期(2019年4月5日)	10,098	△0.0	79.4	—	—	16,167

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

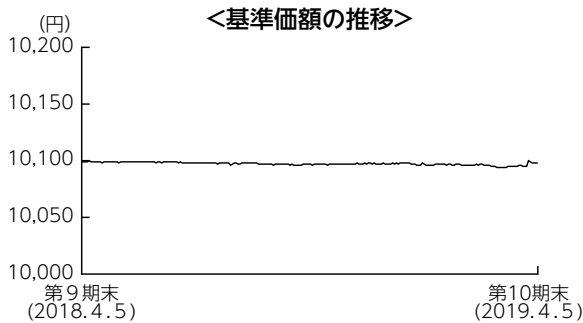
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比	券 率	新 株 予 約 権 付 社 債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	債 先 物 比	券 率
	円	騰 落 率					
(期 首) 2018年 4 月 5 日	10,099	% -		% 71.1		% -	% -
4 月 末	10,099	0.0		71.0		-	-
5 月 末	10,099	0.0		73.6		-	-
6 月 末	10,098	△0.0		72.2		-	-
7 月 末	10,098	△0.0		72.2		-	-
8 月 末	10,097	△0.0		88.4		-	-
9 月 末	10,097	△0.0		79.1		-	-
10 月 末	10,097	△0.0		77.9		-	-
11 月 末	10,097	△0.0		78.2		-	-
12 月 末	10,096	△0.0		71.4		-	-
2019年 1 月 末	10,097	△0.0		71.4		-	-
2 月 末	10,095	△0.0		71.4		-	-
3 月 末	10,100	0.0		79.4		-	-
(期 末) 2019年 4 月 5 日	10,098	△0.0		79.4		-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2018年4月6日から2019年4月5日まで）



基準価額の推移

当期末の基準価額は10,098円となり、前期末比で0.01%下落しました。

基準価額の主な変動要因

日銀のマイナス金利政策によってコールローンがマイナス利回りとなっているため、その影響を受けて基準価額は下落しました。

投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは概ね $\Delta 0.3\% \sim \Delta 0.1\%$ 台で推移しました。米国が

金融政策正常化のペースを落としたことや国債市場の需給要因から一時的に利回りが低下する局面もありましたが、米国や中国の景気が市場の見方ほど悪くないのではないかとの見通しが強まったことから期末にかけて利回りは上昇し、期を通して見るとレンジ内での推移となりました。

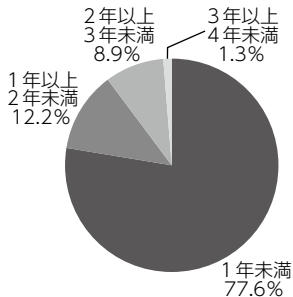
ポートフォリオについて

残存期間の短い政府保証債を中心とした運用を行いました。

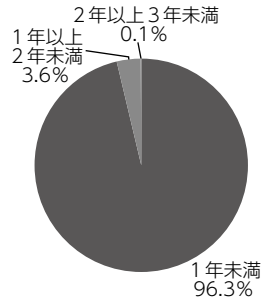
【運用状況】 ※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

○残存年限別構成比

期首（前期末）



当期末



今後の運用方針

日銀の金融政策の物価目標2%までは依然として距離があるため、当面は政策の据え置きが予想されます。マイナス金利政策が継続されると考えられるため、国債や政府保証債、地方債などを中心に運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合 計	0	0.000

(注) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(10,097円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については7ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

■ 売買及び取引の状況 (2018年4月6日から2019年4月5日まで)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内		千円	千円
	国 債 証 券	12,636,104	(-)
	地 方 債 証 券	40,605	(34,950)
	特 殊 債 券	-	200,019 (329,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2018年4月6日から2019年4月5日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 12,676	百万円 202	% 1.6	百万円 200	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	12,600,000	12,631,008	78.1	—	—	—	78.1
地 方 債 証 券	135,830	136,409	0.8	0.6	—	—	0.8
特 殊 債 券	66,000	67,019	0.4	—	—	0.1	0.4
合 計	12,801,830	12,834,437	79.4	0.6	—	0.1	79.3

(注1) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 無格付銘柄については、B B格以下に含めて表示しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(国債証券)	%	千円	千円	
3 0 1 回 利付国庫債券（10年）	1.5000	200,000	200,658	2019/06/20
1 2 3 回 利付国庫債券（5年）	0.1000	12,000,000	12,029,040	2020/03/20
3 8 8 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	100,000	100,281	2020/05/15
3 9 1 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	200,000	200,672	2020/08/01
3 9 2 回 利付国庫債券（2年）	0.1000	100,000	100,357	2020/09/01
小 計	—	12,600,000	12,631,008	—
(地方債証券)	%	千円	千円	
2 6 年度 4 回 静岡県公募公債	0.2090	14,810	14,816	2019/06/24
2 6 年度 1 回 大阪市みおつくし債	0.2200	6,000	5,999	2019/06/27
2 1 年度 6 回 愛知県公募公債	1.4400	10,000	10,045	2019/07/30
2 6 年度 京都府京都みらい債	0.1600	9,200	9,194	2019/09/02
3 3 1 回 大阪府公募公債	1.4100	10,000	10,078	2019/10/29
2 6 年度 7 回 福岡県公募公債	0.2000	6,500	6,495	2019/12/25
2 1 年度 3 5 回 兵庫県公募公債	1.4600	40,000	40,457	2020/01/22
4 3 回 川崎市公募公債 5年	0.1370	10,850	10,863	2020/03/19
2 7 年度 2 回 千葉県公募公債	0.1770	14,670	14,697	2020/05/25
2 7 年度 京都府京都みらい債	0.1000	13,800	13,762	2020/09/02
小 計	—	135,830	136,409	—
(特殊債券)	%	千円	千円	
8 9 回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.3000	4,000	4,026	2019/09/30
9 3 回 政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.4000	8,000	8,075	2019/11/29

銘	柄	当 期			末
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(特殊債券)		%	千円	千円	
1 0 0 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.4000	9,000	9,117	2020/02/28
1 1 2 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.1000	30,000	30,455	2020/07/31
1 1 7 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.0000	6,000	6,093	2020/09/30
1 3 3 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.3000	5,000	5,139	2021/04/30
1 3 7 回	政保日本高速道路保有・債務返済機構	1.2000	4,000	4,111	2021/06/30
小	計	—	66,000	67,019	—
合	計	—	12,801,830	12,834,437	—

■投資信託財産の構成

2019年4月5日現在

項 目	当 期		末
	評 価 額	比	率
公 社 債	千円		%
12,834,437		79.4	
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,332,745		20.6
投 資 信 託 財 産 総 額	16,167,183		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年4月5日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	16,167,183,546円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	3,330,773,596
公 社 債(評価額)	12,834,437,613
未 収 利 息	1,577,825
前 払 費 用	394,512
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	16,167,183,546
元 本	16,010,803,187
次 期 繰 越 損 益 金	156,380,359
(D) 受 益 権 総 口 数	16,010,803,187口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,098円

■損益の状況

当期 自2018年4月6日 至2019年4月5日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	6,929,090円
受 取 利 息	7,285,281
支 払 利 息	△356,191
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△10,516,322
売 買 損 益	73,746
売 買 損 益	△10,590,068
(C) そ の 他 費 用	△279
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△3,587,511
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	10,082,629
(F) 解 約 差 損 益 金	△48,033
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	149,933,274
(H) 合 計(D+E+F+G)	156,380,359
次 期 繰 越 損 益 金(H)	156,380,359

(注1) 期首元本額 1,020,388,428円
追加設定元本額 14,995,366,726円
一部解約元本額 4,951,967円

(注2) 期末における元本の内訳

クルーズコントロール	990,000,991円
ダイナミック・ナビゲーション	98,710円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<円コース>	870,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	530,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>	70,000円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	10,530,000円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <円コース>	1,281,836円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <豪ドルコース>	246,797円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <ブラジルレアルコース>	1,689,581円
世界ハイブリッド証券ファンド通貨選択シリーズ (毎月分配型) <中国元コース>	654,944円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<中国元コース>	149,716円
ネット証券専用ファンドシリーズ 新興市場日本株 レアル型	103,986円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド 資源通貨バスケットコース	4,486,988円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド ブラジルレアルコース	4,586,699円
DIAM グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド 円コース	997,109円
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<米ドルコース>	5,972円
DIAM 米国リート・インカムプラス	994,728円
USストラテジック・インカム・ファンドAコース (為替ヘッジあり)	993,740円
USストラテジック・インカム・ファンドBコース (為替ヘッジなし)	1,987,479円
DIAM-ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド<DC年金>	9,935円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 円コース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 米ドルコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) 豪ドルコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) メキシコペソコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) トルコリラコース	9,925円
みずほジャパン・アクティブ・ストラテジー (通貨選択型) ブラジルレアルコース	9,925円
USストラテジック・インカム・ファンド (年1回決算型) ヘッジあり	9,924円
USストラテジック・インカム・ファンド (年1回決算型) ヘッジなし	9,924円
米国株式リスクコントロール戦略ファンド<為替ヘッジあり>	9,909円
米国株式リスクコントロール戦略ファンド<為替ヘッジなし>	9,909円
マッシュューズ・アジア株式ファンド	99,019,705円
One世界分散セレクト (Aコース)	99,040円
One世界分散セレクト (Bコース)	99,040円
One世界分散セレクト (Cコース)	99,040円
リスクコントロール型ETF分散投資ファンド (適格機関投資家限定)	39,612,786円
USD/JPYダイナミックヘッジ戦略ファンド-2019 (適格機関投資家限定)	14,851,485,149円
期末元本合計	16,010,803,187円

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。